

佐原地区の液状化対策事業計画書（案）

位置図・平面図

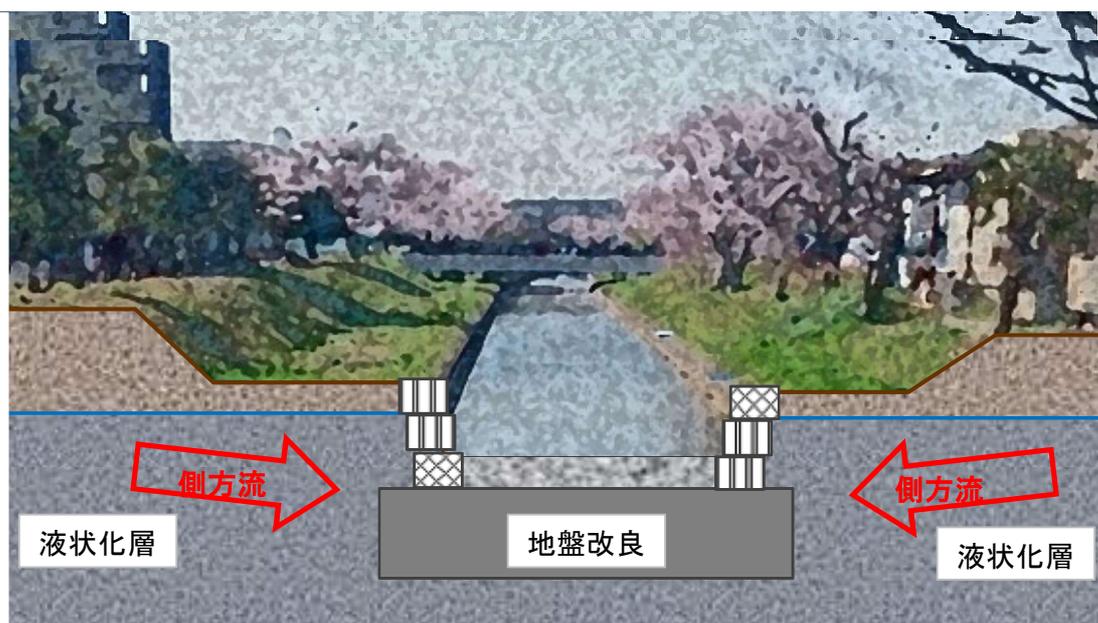
位置図(液状化対策工事)



-  鉛直沈下対策地区
-  側方流動対策地区
-  側方流動対策箇所

4,570,000千円

(側方流動対策イメージ図)



(公共施設と宅地の一体的な液状化対策の詳細)

1. 対策工（側方流動対策工）の考え方

- 液状化が発生すると、十間川、小野川沿いの高低差がある地盤で、流動化した地盤が河川背後から河川側に向かって移動し、大きな水平変位が発生する。
- 側方流動による地盤変位を抑えるため、河床部（必要に応じて護岸部分）を地盤改良して、河川背面地盤の水平変位を抑える。

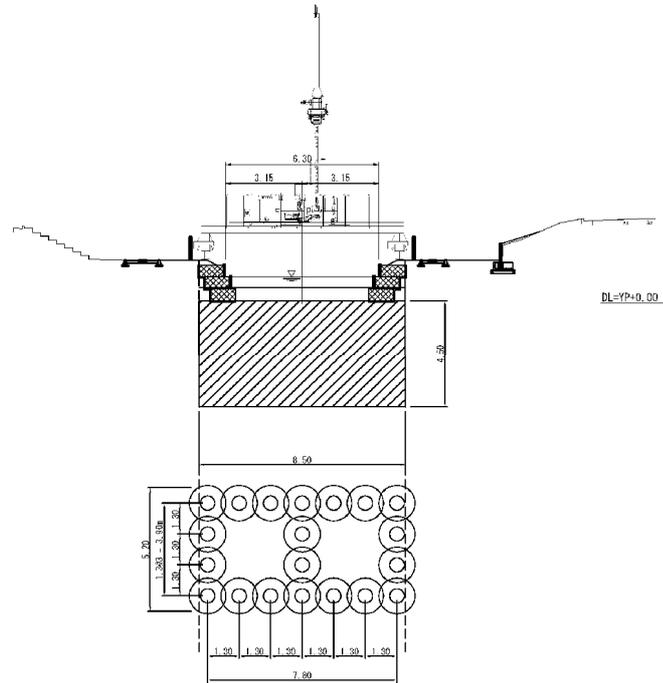
2. 対策工（側方流動対策）の詳細

- 対策工の地盤改良工は以下の閾値を目標に、範囲を設定した。
 - ①タイプ1地震に対しては、宅地の液状化程度が軽微となることを目標に、水平変位5cm以下とする。
 - ②タイプ2地震に対しては、宅地に有害な変位が生じないよう、宅地境界から10mの範囲でひずみ0.3%以下とする。
- 対策工の地盤改良は、変位抑制効果の高い河床部を中心に実施し、必要に応じて護岸部分を改良する。
- 対策工の地盤改良は改良率50%以上の格子状改良を基本に設定した。
- 施工方法は、高圧噴射方式を設定した。

標準断面図

(A-A断面図)

●十間川 地盤改良標準断面図



●小野川 地盤改良標準断面図

